

七、経過及交渉状況

前記發表アレバ従業員側近藤俊以下二十六名ハ午後六時水所
區平川橋一ノ一野口泰治方ニ集合シ對策協議ノ結果別記ハ誓
約書ニ全員署名ノ上別記ハ歎願書ヲ作成シ翌十七日東京鉄工
組合執行委員山下鶴松外六名ハ工場主任島萬作ニ會見シテ前
示歎願書ヲ提出セルニ事業主ハ貸下ハ取引製品ノ單價値下ケ
ニヨルモノニシテ解雇ハ事業主ノ為ナルカ歎願ニ對シテハ
翌十八日午前十一時迄ニ回答ハ旨ヲ述ハテ會見ヲ了セリ
翌十八日午前十一時従業員代表ハ工場事務所ニ於テ事業主ト
會見シ昨日ノ歎願ニ對スル回答ヲ求メタルニ事業主ヨリ諸君
ノ歎願ニ對シ再考ノ結果目下ノ事業不振ニヨリ拒絶スルノ止
メナキ旨ヲ回答シ代表者ト別記ハ詳回答アリタルカ結局決裂
ニ終レリ

心將來ノ予想

事業主側ハ目下平常通作業務續中ナルカ態度強硬ニシテ従業
員側ノ歎願ヲ一蹴レ居レルヲ以テ相當ノ紛糾ヲ見ルヘキモノ
ト予想セラレ
右及中(通)報候也

別記ハ

誓約書

今四工場主ヨリ發表シタル賃銀値下及首切ハ吾等ノ生活權ヲ破壊スルモノナルヲ以テ此ノ
紛糾ハ例ハ善議ニ且ルトモ其解決ヲ見ル迄ハ絶対ニ同志ヲ裏切レカ如キ行為ヲ致サハル事
ヲ誓約ス

若レ右誓約ニ交シタル時ハ如何ナル期才ヲ受クルモ異議ナシ

昭和六年二月十六日

近藤 俊 笠井 勲 告 坂井 平三
才寺 福松 林 金作 外二十一名